

令和7年度都立小平南高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	1 言語を使った思考力の育成 2 我が国の言語文化の理解	1 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する。 2 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 3 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	・授業担当者による学期ごとの教材、指導内容の精選と、定期考査ごとに担当者全体で問題の検討、精査を行う。 ・「探究」におけるグループ発表や小論文添削指導によって、伝え合う力とともに確かな国語力を育成する。
地理歴史	1 現代世界の地域的特色の理解 2 日本と世界の歴史理解 3 我が国と他国の文化理解	1 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。 2 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、考察し、考察したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 3 我が国の国土や歴史に対する理解、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める	・調査や諸資料から、様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける学習活動を重視する。 ・各種の統計、年鑑、白書、画像、新聞、読み物などを適切に活用し、結果を整理し報告書にまとめ、発表したりするなどの活動を取り入れる。
公民	1 健全な批判精神の育成 2 本質を探究する哲学的思考力の育成	1 健全な批判精神と独立自尊の精神の寛容 2 日本国憲法を遵守し、国際社会の平和、環境の保全、人類の多様性を実現する公民の育成 3 ものごとの姿の根本を問い、本質を探究する哲学的思考力、資質の育成	・現代の諸課題を捉え、多面的・多角的に考察、構想する ・情報の収集、処理や発表などに当たっては、学校図書館や公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどを積極的に活用することで、生徒が主体に学習に取り組めるようにする。
数学	1 進路希望を実現できる学力の育成 2 数学を学ぶ楽しさを知る	1 基礎学力の充実を図る。進路希望を実現できる実力をつける。 2 プリントやICT機器などを利用し、数学を学ぶ楽しさがわかるように授業を工夫する。 3 習熟度別授業を実施し、生徒の学力に応じたきめ細かい指導を行う。 4 補習・講習・質問会などを通じて、学力向上の支援をおこなう。	・様々なレベルの問題演習を実施する中で、生徒自らが考え、問題解決に積極的に取り組んでいく姿勢を醸成する。 ・補習、講習等でより発展的・応用的な問題に触れながら、数学的・論理的思考力の深化を目指す。
理科	1 科学的思考力の育成 2 教科横断的学習により、広く学ぶ姿勢を身に付ける	1 教科書の基礎的・基本的な内容を確実に理解し、自分の言葉で説明できるようになる。 2 実験や観察を班ごとに協同して意欲的にを行い、体験を通して科学的思考力を身につける。 3 理科と他教科との関連に気づき、より広く深く学ぶ姿勢を鍛える。	・実験や観察の計画を立て、探究の方法やレポートのまとめ方について学習する。 ・教科書の内容を踏まえた「探究活動」を進める。

令和7年度都立小平南高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
保健体育	1 運動の多様性・体力の必要性の理解 2 生涯に渡って運動を継続する態度の育成 3 健康についての理解を深め実践できる力をつける	1 運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能が身につけられるようにする。 2 生涯に渡って健康・安全を確保し、運動を豊かに継続するための課題を発見できる態度を養う。 3 個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解を深める 4 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付ける	・スポーツテストの結果から自分に適した運動を考え実践する ・日常の健康に関わるニュースを自分の生活に照らし合わせて生活の改善に役立てる
芸術	1 豊かな感性の育成 2 芸術文化の継承 3 芸術を通じた人間理解	1 感性を豊かにし、人間の内的について深く考える力の育成を行う。 2 自ら進んで自己を表現し、美しさを探求する精神を養う。 3 これまでの芸術文化を引き継ぎ、発展させ国内外で社会貢献できる心豊かな人間の育成を行う。	1 鑑賞や個人の探求発表を行う。 2 基礎基本演習とそれをもとにした発展的創造制作に取り組む。 3 国内外の芸術・文化活動について深く考えさせる内容を授業に組み込む。
外国語	1 実践的コミュニケーション力の育成 2 言語の背景にある文化・歴史理解	1 実際のコミュニケーションの場面を設定し、表現、語彙、文法を使用できるようにする。 2 コミュニケーションの設定で使用する場面の文化的、歴史的背景を学ぶ。 3 言語の背景にある文化に対する理解を深めつつ主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	1 コミュニケーション英語において音読の回数を増やす。 2 オーバーラッピング、シャドーイングに積極的に取り組む。 3 Show and Tellを定期的に授業に組み込む。
家庭	1 人間と生活について総合的に捉え、理解と技能を身に付ける。 2 協働・地域社会への参画についての態度を養う。	1 人間の発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につける。 2 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 3 さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	1 授業で学習した内容を踏まえ、食事の献立から調理までを一人で実践し、レポートにまとめる。また発表を通して自分の食生活に関する課題を見つける。 2 授業で学習した内容を踏まえ、東京都消費生活センターが主催する「CM動画シナリオ」に全員応募する。

令和7年度都立小平南高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
情報	1 情報技術の活用により問題発見・解決能力を図る能力を身に付ける。 2 情報・情報技術の適切な利用について理解を深める。	1 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。 2 様々な事情を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	1. レポートやポスターなどの表現する実習を多く取り入れる。 2. プログラミングやタイピングなどを毎授業行い、知識の定着を図る。
総合的な探究の時間	1 個人・グループでテーマを達成させる態度とスキルを身に付けさせる。 2 自己発見・キャリア探索により自分に合った進路を見つける。	1 問題解決能力の向上: 問題や課題に対して、個人だけでなくグループで論理的かつ創造的な解決策を見つける力を養う。 2 コミュニケーション能力の強化: 調査結果を発表したり、グループで協力してプロジェクトを進めたりする機会を通して、他者と効果的にコミュニケーションを取る力が向上させる。 3 自己発見とキャリア探索: 自分の興味や関心を深めることで、将来の進路やキャリアについての理解を深め、自分に合った進路を見つける機会にする。	1 実際に販売できる商品企画を行い、現実社会で生きていける力を身に付けさせる。 2 企業と連携し、国際的な課題解決に取り組む。